

誘惑の光景

—19世紀のロマン主義版画・ドラクロワ、ジョン・マーティンなど—

主催：静岡県立美術館

会期：平成17年11月12日(土)～12月18日(日)

休館日：毎週月曜日

展覧会タイトルの「誘惑の光景」とは、人間に尽きることなく生まれる欲望と、その欲望に誘惑される姿をさしている。こうした人間の姿は、たとえば西洋では原罪を描いた『聖書』に始まり、『失樂園』などさまざまな古典文学や物語の格好の題材となってきたが、また同時に時代を超えて訴える力を持つテーマでもある。

本展では、人間の「欲望への誘惑」をキーワードに、18世紀後半から19世紀半ば頃にかけてのロマン主義の作家たちによる、文学と芸術とが一体となった版画作品（書物の挿絵含）を展示した。展示のテーマは次の4つ、1.『失樂園』 2.『聖書』 3.『ファウスト』 4. シェイクスピアから成り、出品作家はイギリスとフランスの作家たちに焦点を当てて構成した。

なおこの展覧会には、収蔵品を中心にした企画展というもう一つの側面がある。20年の歳月をかけて収集してきた当館の収蔵作品は2,300点以上にのぼるが、その中で西洋の版画作品は500余点を数えるまでになった。副題のドラクロワ、ジョン・マーティンによる出品作品は、いずれも当館のコレクションであることから、展覧会カタログは収蔵品図録として刊行された。

■カタログ

P.45ページの主要刊行物参照

■紹介記事

『芸術新潮』2005年12月号

『一枚の繪』2005年12月号

『エクラタン』13号

■関連事業

「親子探検ツアー」（小学生とご両親対象）

11月13日（日）14：00～（1時間程度）

実技室・展示室

「学芸員のフロア・レクチャー・プラス」

12月3日（土）、4（日）、17（土）、18（日）

14：00～（90分程度）

実技室・展示室

*技法講座のおまけつき

「版画入門・リトグラフ」

11月19日（土）・20（日）10：15～16：15

*詳細は、P.34ページ参照

ミュージアム・コンサート

「魔の旋律—ゲーテの『ファウスト』を歌う」

佐藤典子氏（メゾ・ソプラノ）、中川眞理子氏（ピアノ）、小林旬氏（朗読・司会）

11月27日（日）14：00～15：30 ロダン館

特別講演会「版画の扉を開いて」

山本容子氏（版画家）

12月11日（日）14：00～15：30 講堂

■出品目録

P.83ページ参照



▲ チラシ